

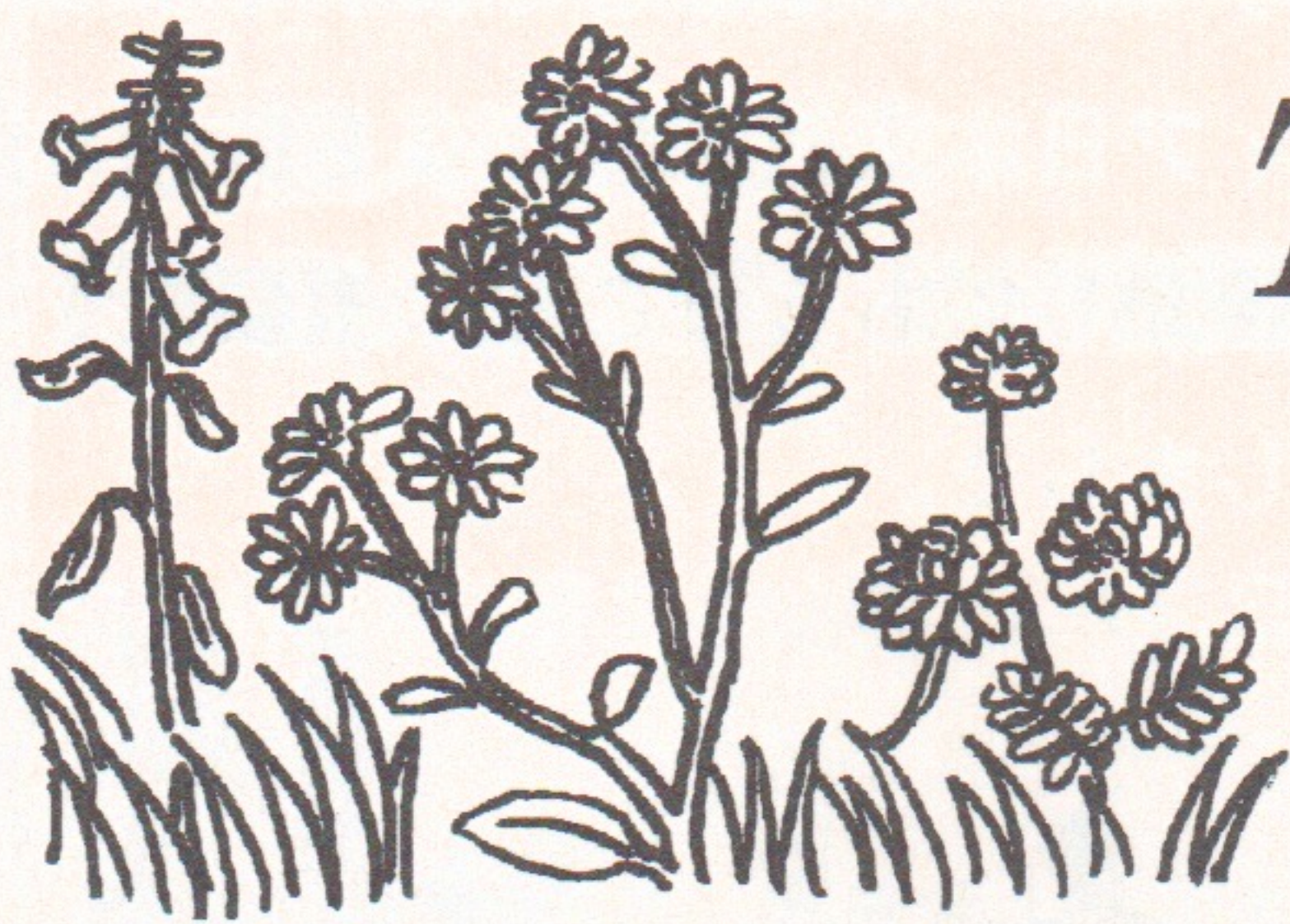
Nihongo Network News

1996.4.8
発行

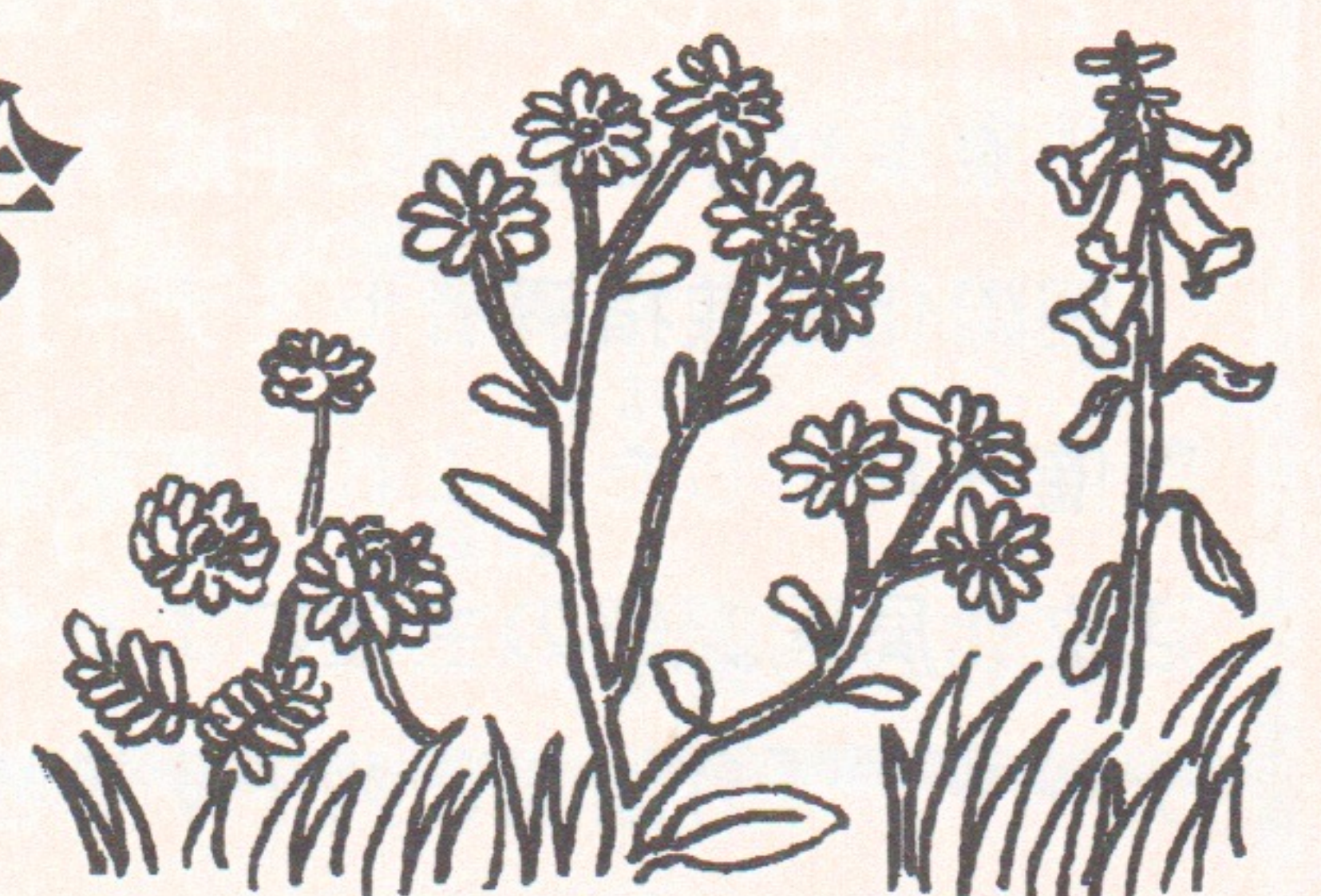
No. 9

東京日本語ボランティア・ネットワーク

〒162 東京都新宿区神楽河岸 1-1 東京ボランティア・センター 気付 ☎03-3235-1171



TNVN '96 春の交流会 にぎやかに開催!



TNVNの恒例となった春の交流会が、3月17日(日)に飯田橋セントラルプラザ5階講習室にて開催されました。当日はあいにくの雨模様で参加者の出足が心配されましたが、午後からは外国人の参加者もまじえてにぎわり、それぞれのコーナーで歓談の輪が広がる楽しい会となりました。

分科会 1

外国人相談窓口から 秦佳朗氏

東京都労働経済局外国人相談員で、「中国語ボランティアネットワーク」代表でもある秦氏の豊富な経験に基づくアドバイスに、参加者は熱心にメモをとる姿が見られました。とくに、トラブルの解決のためにはまずノウハウを持った専門の相談窓口へアドバイスを求めること、またトラブルを未然に防ぐためにも労働条件や約束事はなんらかの形で書面で残しておくことが重要というお話に納得しました。



分科会 2

日本語ボランティアと インターネット 田島弘司氏

文化庁文化語課の田島氏が話題のパソコン通信やインターネットの現状や可能性について、わかりやすく解説。新たなメディアとして注目を集めているものだけに参加者の関心も高く、後半のディスカッションでは活発な質疑がかわされました。日本語教育との関わりとして「日本語プラザ」の例なども紹介。未体験の参加者もすっかり興味をそそられた様子で、最後にはTNVNでパソコン通信の勉強会を開催してほしいという提案もだされました。

分科会 3

日本語講習会

『電話での会話』

外国人の参加者を対象にTNVN会員が講師となって、マンツーマンスタイルで日本語の講習会を開催。電話のかけ方をテーマにシチュエーションごとの実用的な会話を学習しました。

体験コーナー

和紙の折り紙・切り絵

和紙の折り紙や切り絵にはたくさんの外国人参加者がチャレンジ。田村国平氏の花や動物の繊細な切り絵は、日本人からも注目を集めていました。「思ったよりも器用な人が多くて驚きました」というのが折り紙を担当した吉田良子さんの感想でした。



*交流会にお持ちいただいたカンボジアの子どもたちのための衣類等はゴールデンウィーク中にプノンペン孤児院に直接持って行っていただくことになりました。ご協力ありがとうございました。

東京都国際化推進指導者セミナーで TNVN企画の シンポジウムを開催

2月6日（火）から9日（金）まで東京都庁を会場に平成7年度「国際化推進指導者セミナー」が開催されました。これは東京都生活文化局国際部の主催によるセミナーで、「外国人と共生する社会づくりをめざして」というテーマで都や市区町村の国際交流や国際協力の担当者・国際交流や国際協力に関わる民間団体を対象に開催されたものです。

このセミナーの分科会のひとつとして「ことば（日本語）とボランティアを考える」と題するシンポジウムが、TNVNの企画・コーディネートで実施されました。この分科会は、近年増加傾向にあるボランティア日本語教室の活動の実態を知り、今後の活動のあり方を考えようということで企画さ

れました。

シンポジウムのパネリストとして、外国人学習者が4人（アメリカ・ペルー・中国・韓国）、日本人ボランティア2人、プロの日本語教師1人、行政の担当者1人が発言。続いて質疑応答の後、参加者全員でのディスカッションが行われました。幅広い立場からの活発なディスカッションは予定時

間をオーバーするほどで、まずボランティア日本語教室の存在を広く社会に認知してもらうことの重要性を痛感しました。



第二回日本語ボランティア 基礎講習会、終了！

（財）国際コミュニケーション基金の助成を受けて、1月18日（木）から開催されていた第二回日本語ボランティア基礎講習会は、2月21日（水）に終了しました。第一回日本語ボランティア基礎講習会の受講者からの要望にお応えして、今回は元橋富士子先生をコーディネーターに迎え、元橋先生と清ルミ先生を講師に5回コースで開催。

毎回、熱意あふれる受講者で盛況で、8割以上の出席でさしあげる修了

証も大部分の受講者にさしあげることができました。

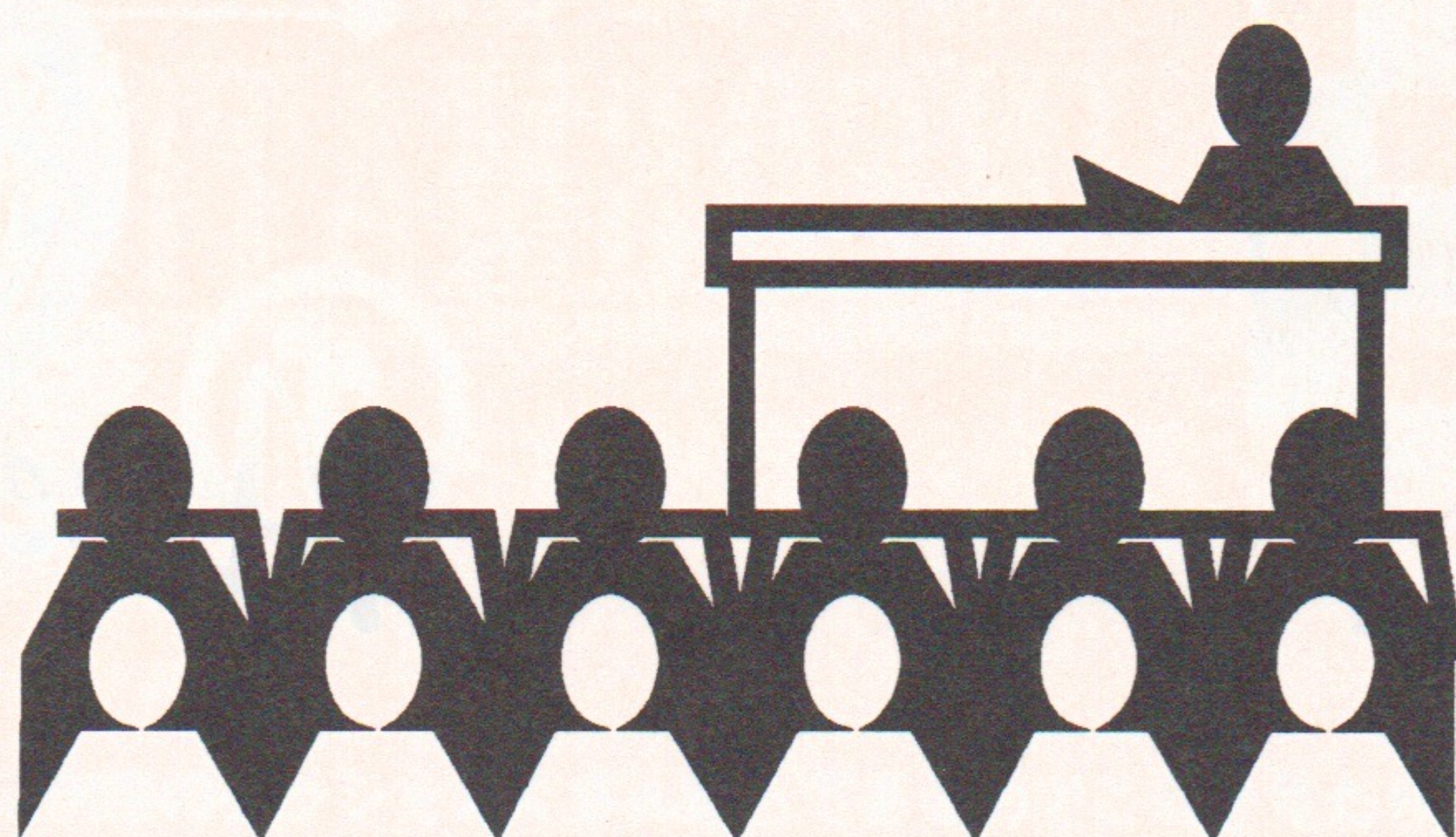
アンケートの結果も大部分の受講者が次回もまた受講したいという回答で、早くも次の講習会へのアンコールの声も高まっているようです。

みなさんの期待に応えて、早速、次回の日本語ボランティア基礎講習会の企画も決定しています。詳細については、10ページの「NETWORK INFORMATION」をご参照ください。

元橋富士子先生と清ルミ先生



『市民による民主的な コミュニケーション作り 研究会』から



日本語ボランティア基礎講習会の準備の話し合いの過程から誕生した『市民による民主的なコミュニケーション作り研究会』は、昨年10月にスタート。市民活動としての日本語ボランティアに関するさまざまな問題をテーマに、「対等なコミュニケーション」という視点から話し合っています。

- 1 日本に住んでいる外国の人のために何ができるのでしょうか。
- 2 なぜ「日本語」なのでしょう。
- 3 なぜ「ボランティア」なのでしょう。
- 4 日本に住んで困っているのは外国人の人だけでしょうか。

このような点について話し合い、これからどのようなことができるのか、一方的な依存関係ではなく、相互依存の方向に持っていくことはできないのか、対等なコミュニケーションや学習の場を作っていくことはできないのか、などということを考える場として活動しています。

これまでに以下のような話し合いをもちましたが、今後も毎月一回開催の予定ですので、興味のある方はぜひご参加ください。

●第一回研究会/95年10月

参加者自己紹介と今後の活動内容について話し合い

●第二回研究会/95年12月
民主的でないコミュニケーションについて話し合い

●第三回研究会/96年1月
韓国人主婦を交え、ボランティアについて話し合い

●第四回研究会/96年2月
イラン人労働者を交え、学習・教育について話し合い

●第五回研究会/96年3月
医療現場での医師と患者との関係と比較しながら、学習者とボランティアの関係について話し合い

●次回開催予定/第六回研究会
4月23日(火)
午後6時30分～8時30分

◆連絡先

福田知行

〒157 世田谷区喜多見4-28-21

PHONE;03-3416-8834

第一回 『ネットワークの会』が 開催されました

日本語ボランティアにまつわるさまざまな問題について話し合い、情報交換ができる機会がほしいという要望から、『ネットワークの会』がスタートすることになりました。これはTNVN会員の方も会員でない方も自由に参加していただいて、気軽に話し合っていただくための会です。

第一回目は、大阪府教育委員会社会教育課からTNVNを訪ねていらした谷川敏子さん・藤本隆さんをお招きし、3月28日(木)午後6時から飯田橋の東京ボランティアセンターで開催。多数の団体のみなさん

の参加を得て、識字問題、有償ボランティアと無償ボランティア、ボランティアのあり方と地域性など、幅広いテーマで話し合いが行われ、にぎやかななかにも有意義な会となりました。

次回の『ネットワークの会』は、5月30日(木)午後6時から飯田橋セントラルプラザ7階の東京ボランティアセンターで開催の予定です。この機会に、ほかのグループの活動について知りたい方や、人や情報のネットワークを拡大したい方など、お気軽にご参加ください。



外国の人々との共生を 目指して

まちだ日本語ボランティアネット

大原 徹夫

まちだ日本語ボランティアネットは「まちだ地域国際交流協会」(MIFA)の語学事業部です。MIFAは情報、国際友好及び語学の3事業部からなっています。

町田市は東京都の最西部に位置し、北は多摩・八王子・稲城市に、西は相模原市に、南は横浜・川崎市に接して、現在人口は36万人を数え、東京のベッドタウンとして急速に人口がふえてきた町であります。

町田市に在住する外国人の数は1994年3月現在、2284人を数え、まだ町田市人口の0.6%にすぎません。そのうち、韓国及び朝鮮が1051人と最も多く、中国、フィリピン、米国、ブラジルと続いています。

現在、支援者数60人、学習者数50人で、学習方法はマン・ツウ・マンを採用しており、週2回を限度としています。男性は支援者中8名、学習者中15人です。

また、学習以外に7月には七夕パーティーを行い、多数の参加を得て、日本語のみならず異文化の交流と相互友好を計っています。

本格的な活動を開始して以来、今年5月でちょうど2年になりますが、まだまだ試行錯誤の域をでません。



昨年、町田市公民館で開かれた年末パーティー

東京日本語ボランティア・ネットワーク、三多摩、相模原、大和、横浜等の各国国際交流団体の協力を得て、さらに内容を充実して行きたいと考えております。

隣人として日本語学習を サポート

としま日本語サークル

信永 耕司

豊島区というと外国の方が異常に多く、国際化対策も相当に進んだところ、というイメージをお持ちの方が多いのですが、ボランティアの実感としては決してそうではありません。豊島区には国際交流協会のような組織もなく、ボランティアとして日常的に在日外国人支援活動に参加する機会というのは、意外と少ないものです。「それならば自分たちで作ってしまおう!」ということで、ボランティアセンターの呼びかけで始まったのが、私たち「としま日本語サークル」です。まだ、発足して1年半というところですが、現在、毎週火曜日の午後と夜間、土曜日の午後の3コースを運営しています。ボランティアは日本語教師や専門のトレーニングを受けた方からまったくの未経験者まで、いろいろと試行錯誤しながらの運営が続いています。主婦の方が多い平日、社会人・学生中心の夜間、その混合の土曜日コースと、それぞれが個性的な運営を展開しています。そして、外国人の生徒さんは各コースをまわって、自分に相性の良いコースを選んだりしています。

基本的にはマンツーマンで、ボランティアが日本の良き隣人として参加者の日本語学習をサポートしている、というイメージでしょうか。指定の学期やカリキュラムもなく、その方に合った学習方法の相談から始まる、というとても自由な学習と交流の場なのですが、運営の面からは自由というのは、実はとてもしんどいことですね。これからもがんばりましょう。

パソコン通信ネットワーク

ボランティアネット

NHKボランティアネットで 情報提供をスタート!



TNVNでは3月末から、パソコン通信「NHKボランティアネット」での情報提供を開始しました。この「NHKボランティアネット」では全国の社会福祉協議会やボランティア団体からのイベント情報・募集情報などが公開されていて、パソコン通信で直接アクセスして、情報をとりだすことができます。

通信のための契約や手続きをする必要もなく、どなたでもすぐにアクセスできます。また、情報料は無料ですので、通常の電話料金だけでOKです。

HOW TO ACCESS

アクセス電話番号

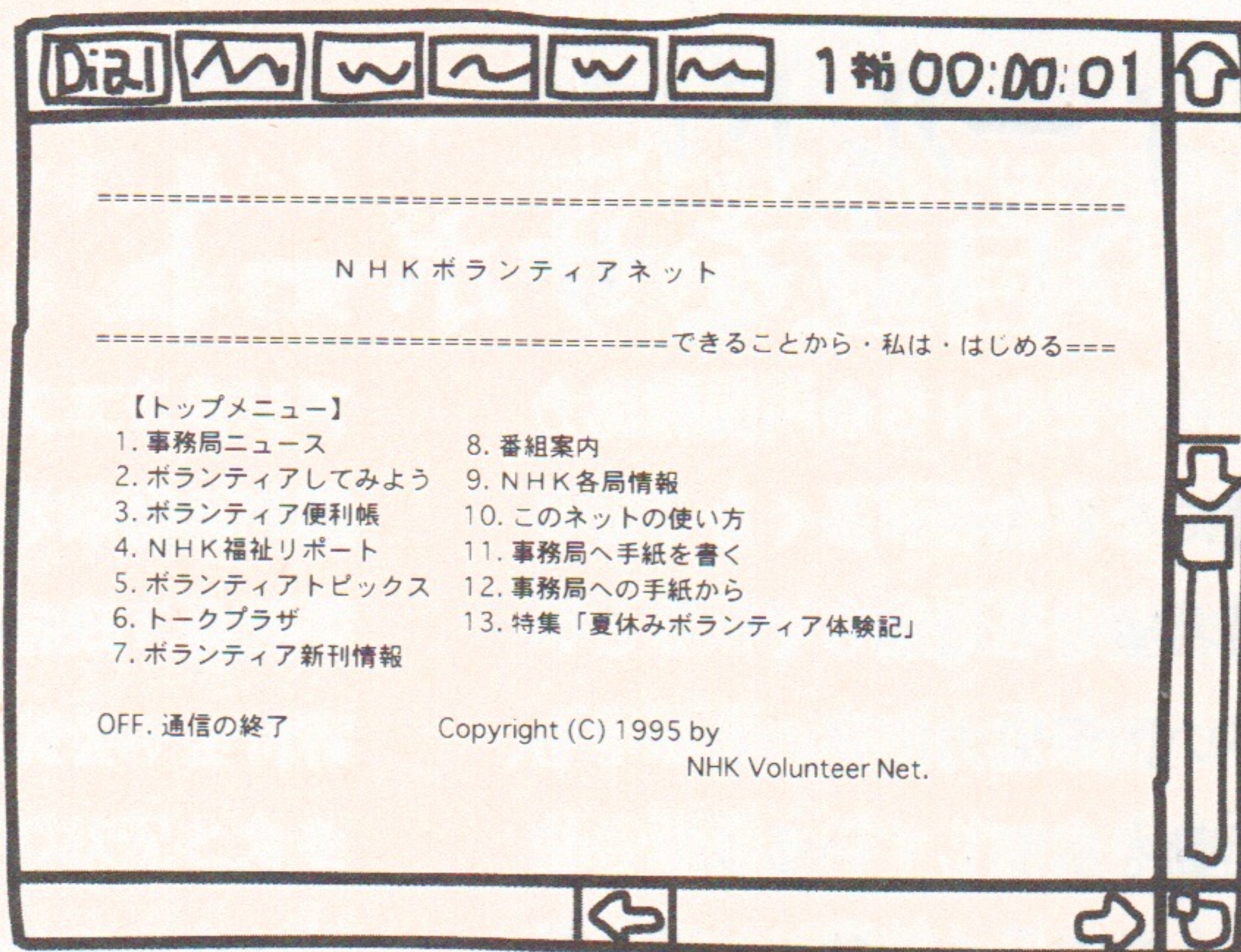
03-3375-1072

ボランティアネット一般利用者

ID: NVN20000

- 1 上記の電話番号にパソコンでアクセスし、接続されたらID番号を聞いてくるので、半角で「NV 20000」と入力する。
- 2 パスワードは不要なので、returnキー（または改行キー）を押す。
- 3 トップメニューが表示されたら、必要な情報番号を選択する。

インターネットでも見られます



NHKボランティアネット・
ホームページアドレス
<http://www.nhk.or.jp/nhkvnet>

詳しい情報はFAXサービスで

NHKボランティアネット事務局
FAX: 03-5454-0888

なお、NHKボランティアネットへのイベント・募集情報の掲載を希望する団体の方は、下記までご連絡ください。

前田 恭子 FAX:03-3412-6711
e-mail:(NIFTY-Serve)QYF06475

首都圏初の多言語放送

76.1MHz インターFM

InterFM 4月1日、開局!

76.1MHz

首都圏ではじめての外国語放送局として『インターFM』が4月1日に開局しました。放送の約90%は英語ですが、生活情報や災害時の緊急放送などは、英語に加えて中国語・ハングル・タガログ語・タイ語・インドネシア語・スペイン語・ポルトガル語の8か国語で行われます。

生活情報「Public Service Announcement」は曜日ごとに違う言語で、1日3回（1回2～3分）。この1週間のニュースやトピックス、イベント・娯楽情報、大使館や役所からの情報、母国の情報などを放送します。

月曜日	中国語
火曜日	ハングル
水曜日	タガログ語
木曜日	インドネシア語
金曜日	スペイン語
土曜日	タイ語
日曜日	ポルトガル語

また、毎週土曜日25時（深夜1時）からはエスニックプログラム「Inter Community Square」で、中国語・ハングル・タガログ語・ポルトガル語のパーソナリティーが週変わり、母国のヒット曲や最新情報、東京での生活情報などを伝えます。

Z



日本語ボランティアレポート

日本国際ボランティアセンター

Japan International Volunteer Center

東京都台東区東上野 1-20-6 丸幸ビル5F

O

O

M

I

N

世界をフィールドに 地域住民の自立をサポート

最近、新聞やテレビなどでNGO（国際協力団体）の活動が話題になる機会が多くなるにつれ、NGOへの就職希望者も増加しているといえます。今回は数多い国際協力団体のなかでも、世界各地で幅広い活動を展開しているJVC日本国際ボランティアセンターをお訪ねして、長野広美さんにお話をお伺いしました。OL時代にはボランティアとして、現在は専従スタッフとして各種のイベントや活動の広報に携わっている長野さんは、それまでにはなかった素晴らしい出会いで世界が広がったとJVCにかける思いを語ってくださいました。

インドシナ難民救援を きっかけに発足

JVCは1980年2月にタイのバンコクで誕生した市民による国際協力団体です。当時、タイに大量流入したインドシナ難民の救援のために日本から駆けつけた若者と、現地で活動を始めていたタイ在住の日本人とがいっしょになって設立。国際社会の中で社会的・精神的・物理的に困難な立場を強いられているアジアやアフリカ、中南米の人々に協力し、新しい生き方や人間関係をつくりだすことを目的に活動しています。

インドシナ難民救援の後は、災害時の「緊急救援」から「開発協力」、「環境保全」へと活動のフィールドを拡大し、今日に至っています。現在は、国内外に数十名の専従スタッフをおりて、会員数は2200名、年間4億円規模の予算で

アジア・アフリカ・パレスチナ・中南米の8か国で活動中です。その活動資金は、国連からの委託金、政府のODA、国際ボランティア貯金、寄付金や会費収入などによってまかなわれています。

JVCの案内パンフレットによると、JVCではボランティアという言葉に「自発的意志をもって、責任ある行動をとる」という積極的意味として『ボランティア』を団体名として使っているということです。

問題の根本的解決は 住民の自立から

JVCの活動の発端は緊急援助からでしたが、緊急援助だけでは問題の根本的な解決にはならないという考えから、その地域の人たちの自立を促すための援助を目指しています。JVCが現在、世界各地で展開している援助の内容は、農村開発、森林保全、環境保全、技術指導、職業訓練、生活改善など、多岐にわたっています。

とくに、急速に都市化が進む都市部においては深刻な問題も多く発生し、その解決のためのさまざまな援助が必要とされています。例えば、若者の職業訓練（ベトナム）、図書館・生協によるスラム住民の自立促進（タイ）、技術者養成学校の運営（カンボジア）、帰還難民の職業訓練・斡旋、黒人居住区の教育充実、（南アフリカ）等があげられます。一方、農村部では、地域開発のために村民が自分たち自身の手で問題を解決し、自給自足の生活を実現することが



重要という考えから、女性生活改善普及員などのリーダーの養成に力を入れています。私たちに耳慣れない言葉ですが、牛銀行（親牛を貸しだし子牛を増やして、それを蓄えとするシステム）、同様に豚銀行、鶏銀行、米銀行（村民が米を出し合い、蔵を作り貸し出しをするシステム）等の共同体活動を進めています。

まず、地域の人たちが自分たちの状況と力を自覚することが改善の始まり。現地の人たちとの信頼関係を深めながら、伝統的な知恵を取り入れ、また自然との調和も考慮しながら援助を進めています。

後方支援としての ボランティアの役割

JVCの現地でのさまざまな活動にはスタッフがあたり、一般のボランティアはスタディツアー等のかたちで関わるすることができます。

また、東京の本部では毎月3回オリエンテーションを開催し、先入観（汚い、貧しい等）を持たずに相手を理解することの大切さを学び、身近なことからなにを始められるかを考えてもらっています。国際協力というどうしても現地での活動だけが注目を集めがちですが、現地でのことだけが協力ではありません。そのためJVCでは講演会、報告会、学習会などを開催し、第三世界の状況を学び理解を深めてもらっています。

とくに国内での活動にボランティアの果たす役割は大きく、事務局活動やイベントを側面からサポート。キャンペーンやイベントにはボランティアチームとしてプログラムを作って参加したり、国別にイベントを企画・運営して、ボ

ランティアならではの活動を行っています。

JVCの資金作りのために行っている古ハガキや使用済みテレカの収集などもボランティアの手によって実施されています。その他、アジア・アフリカの写真のカレンダーやポストカードの販売、タイ・ラオス・カンボジアの手作りの販売、コンサートの企画なども、JVCの資金作りに貢献しています。

何がしたいかより、 何が求められているか

現地での活動で重要なのは、その地域の人々との関わり方。単に技術や知識を教えるのではなく、必要な資料を提供して自分たち自身で考え行動する方向へともっていきます。反面、政府との交渉などではしっかり自己主張をすることが求められ、こうすればいいという教科書はないので柔軟性を持ってものごとに対処していくことが大切といえます。最近では国際協力が注目を集めるようになったため、援助を申し出る企業や個人も増加しましたが「自分が何をしたいかより、何が必要とされているかを優先して考えてほしい」と長野さん。また、NGOへの就職を希望する若者には、先輩として「現地での調整員でなくては、とか、形にはまった捉え方をしている人が多いように思います。NGOに関わって自分に何ができるのか、『思い』だけでなく冷静によく調べてほしい」とアドバイス。ともかく一人でも多くの人に活動を知ってもらって、週に1回でも月に1回でも継続的に参加してもらえる仲間を増やしていきたいということでした。(写真提供:日本国際ボランティアセンター)

Z

O

O

M

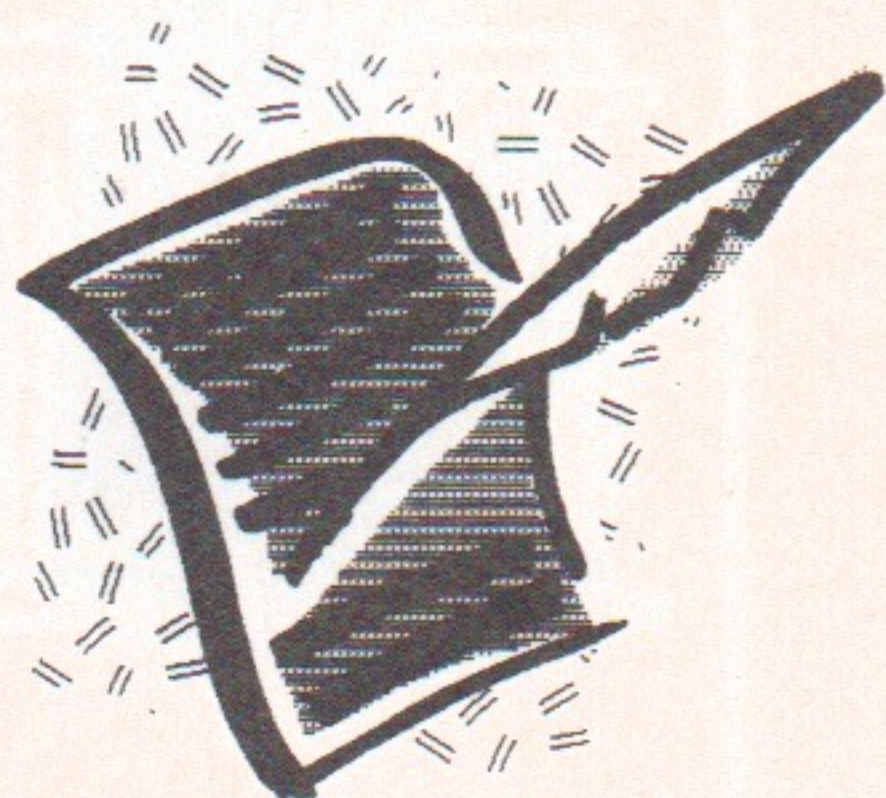
I

N

日本語を教えはじめたとき、時間を表す「十分」の読み方がとても気になりました。私自身（東京生まれ、東京育ち）は「じゅっぶん」と発音しており、ほかの人に聞いても皆同じでした。ところが、日本語の教科書には「じっぶん」と書いてあるではありませんか。いろいろ調べてみると歴史的には「十」は「じふ」であり、複合語になると「じっ」に変化するのだそうです。ほかにも「執心（しゅうしん）」と「執行（しっこう）」などの例があるのだということを知り、一応納得はしましたが、私自身は今でも「じゅっぶん」と発音していますし、「じっぶん」という発音はほとんど聞いたことがありません（NHKだけ?）。もちろん、教科書の編集者もそれはわかっているはずですが、教科書という性格上、『正しい』とされている発音を選んだのだ



ろうと思われます。しかし、よく考えてみると、日本語学習者は日本語を操る力が十分ではありませんから、どちらかというと学問的には正しくなくても、実際の場面でよく使われる表現の方が役立つはず。特に日常生活の日本語学習支援をしている日本語ボランティアでは、『正しい日本語』よりも『役立つ日本語』のほうが優先順序が高いのではないのでしょうか。



KDDが提供する 外国人の暮らしに役立つ パンフレット

KDDでは顧客サービスの一環として、在日・来日の外国人のみなさんの生活に役立つさまざまなパンフレット類を製作して、配布しています。なお、入手をご希望の会員の方は、TNVN事務局までお問い合わせください。

HINT (HANDY INFORMATION on NIPPON in TROUBLE)

日本で生活する外国人のための生活ガイド。具体的には、以下のような項目の説明と、あわせて『やさしい日本語講座』のコラムが掲載されています。

- 国際電話のかけ方、料金について
- 緊急時（火事・救急など）の連絡の

方法

- 病気や保険について
- 住宅や電気・ガス・水道・ゴミだしなど、生活全般
- 困ったときの相談窓口
- 日本の交通手段について
- 学校について

<英語版、中国語版、ハングル版があり、それぞれ日本語併記>

KDD Map of Tokyo

東京の鉄道路線図や主要駅周辺、観光地などを紹介したパンフレット。デパート、大使館、ホテル、映画館、美術館なども表示されているので、街を歩くときに持っているとう便利です。 <英語版>

時差早見ダイヤル

世界の主要都市間の時差がひとめでわかる回転式の時差早見表は、海外に電話をするときに便利です。コンパクトですから、海外旅行をするときに持っていくと役立ちます。

<日本語版、英語版>

ポケットカレンダー

定期券サイズのポケットカレンダー。各国語で国際電話のかけ方なども書かれているので、定期入れなどに入れてお使いください <各言語あり>

Services as Varied as Your Needs! (十人十色)

KDDのさまざまな割引サービスなどを紹介したパンフレット。それぞれの家庭や会社に最も適したサービスで、国際電話をより安く使うための参考にどうぞ。 <英語版>

外国人のための 生活ケア講座

不動産の賃貸①

外国人からの相談のなかでも多いのが、マンション・アパートなどの不動産の賃貸にまつわるものです。とくに首都圏に住む外国人にとっては、住居の問題は最も困難な問題のひとつと言えます。外国人を対象とした物件がなかなか見つからないだけでなく、賃貸にまつわる商習慣や生活スタイルの違いなど、トラブルの原因もさまざま。

そのための対応策として『外国人のための不動産賃貸マニュアル』を作成する動きも広がっています。たとえば板橋区では、94年に神奈川県・横浜市・川崎市が共同で製作したマニュアルを参考にして、『外国人向け賃貸住宅情報案内』を作成しました。これは部屋の探し方や住まい方などの案内をまとめたもので、日本語・中国語併記となっています。また、外国人住民の多い豊島区でも、豊島区宅地建物取引業協会が『外国人と貸主の不動産賃貸借マニュアル』を製作。これは、不動産業界と外国人双方の代表とで話し合いをもち、その結果をいかして作成したものです。賃貸借の手続きや不動産用語・部屋の住まい方などを解説したマニュアルで、英語版と中国語版（どちらも日本語併記）があります。

◆民間住宅の探し方

- 1 在籍する企業や学校の窓口で斡旋してもらう。
企業や学校によっては寮や民間住宅などの斡旋をしているので、まず窓口で確認してみよう。
- 2 専門の機関で斡旋してもらう。
外国人を対象に住宅の斡旋をしている機関や住宅に関する相談を受け付けている窓口があるので、それを活用する。たとえば下記の機関など。
財団法人内外学生センター 東京第二学生相談所
〒160 新宿区四谷1-2 Tel:03-3359-5997
（「留学」の在留資格をもつ大学生・高等専門学校生が対象）
- 3 住宅情報誌で探す。
賃貸住宅の情報が掲載された週刊誌が多数発行されており、駅の売店や街の書店などで手軽に購入できる。情報は電車の沿線別などに整理して掲載されているので、それを見て直接電話をして探す。
- 4 英字新聞や外国人向け情報誌で探す。
英字新聞・外国人向け情報誌などの広告ページには不動産賃貸の情報も掲載されているので、気に入った物件があったら直接電話をする。
- 5 民間の不動産屋に斡旋を依頼する。
不動産屋は駅の周辺にあることが多く、地元の物件を多く扱っているため、直接自分の住みたい地域にでかけて探すとよい。不動産屋では

窓ガラスに物件のチラシをたくさん貼ってあるのでこれを見たり、店内で物件のファイルを見せてもらったりして検討する。

探すときには、自分が求める不動産の条件（家賃・間取り・設備・立地条件など）を明確に伝えられるようにしておく。

◆不動産探しのキーワード

- ◎賃貸借契約 部屋を借りるときには貸し主と借り主の間で契約を交わす。契約には、入居者の外国人登録証の写し・パスポートの写し・学生証など身分を証明する書類・印鑑・保証人の承諾書及び印鑑登録証明書などが必要。
- ◎家賃 通常は毎月月末までに翌月分を前払いする。マンションによっては著しく支払いが遅れると延滞金がかかることもある。
- ◎手付け金 契約の履行を保证するために支払うもので、手付け金を払えば業者は一定期間その物件をとっておいてくれる。契約時には敷金に充当されるが、借り主の都合で契約をキャンセルするときには返却されない。
- ◎敷金（保証金） 入居中の担保として貸し主に預けておくもので、通常は家賃の2～3か月分。部屋を出るときには返却されるが、家賃を滞納したり借り主の責任で部屋を補修しなければならない時はそこから差し引かれる。
- ◎礼金（権利金） 貸し主への謝礼という日本独特の習慣で、返却されない。通常は家賃の1～2か月分。
- ◎共益費（雑費） 階段・共用トイレなどの共用部分にかかる電気代・水道代などの費用として、毎月家賃とは別に支払う。
- ◎仲介手数料 不動産仲介業者に支払う手数料で、通常、家賃の1か月分。
- ◎連帯保証人 部屋を借りるときには日本人の連帯保証人が必要。借り主が家賃などを支払えなくなったときには、連帯保証人が責任を負う。外国人の場合は日本での身元引受人・親しい友人・勤務先の責任者などがなることが多い。
- ◎契約期間 契約の期間は通常2年間であるが、物件によっては期間を特定した短期間のものもある。
- ◎契約の更新 契約期間満了する際には貸し主・借り主の合意の上、契約を更新することができる。この場合には更新料として新しい家賃の1か月程度がかかる。
- ◎契約の解除 契約を解除して部屋を出るときには、解除したい日の1～2か月前までに通知する。部屋を出る直前に通知すると1か月分の家賃を支払わなければならないこともあるので注意する。

（資料協力/板橋区・
東京都宅地建物取引業協会豊島区支部）

NETWORK INFORMATION

『インターネット体験セミナー』 の受講者募集!

先日開催されたTNVN春の交流会・分科会『インターネットと日本語ボランティア』での要望から、TNVNではインターネットの講習会を開催することになりました。今回は、株式会社ジャストシステムのご好意により『インターネット体験セミナー』を実施します。受講人数が限られているので、参加希望者は下記まで郵便またはFAXでお申込ください。詳しい日程が決定次第あらためてご連絡をさしあげます。

◆日時/未定

5月中の平日昼間、3時間程度

◆場所

(株)ジャストシステム・セミナー室
(地下鉄青山一丁目駅より徒歩1分)

◆講師

(株)ジャストシステム専任講師

◆定員/12名

先着順・一団体1名でお願いします

◆受講料/1000円程度

◆申込み・問い合わせ

〒152 目黒区東が丘1-30-8

前田 恭子

FAX:03-3412-6711

『ボランティア 日本語教室ガイド』の アンケートにご協力を

TNVNでは今年、『ボランティア日本語教室ガイド』改訂版を発行の予定です。そのためのアンケート用紙を各団体に郵送しましたので、ご記入の上ご返送ください。4月になっていろいろと変更も多いと思われるので、最新の情報を掲載するためにもご協力をお願いいたします。



入門講座:午後6~8時

相談窓口:午後8~9時

5月7日(火)

入門講座:午後2~4時

相談窓口:午後4~5時

5月21日(火)

入門講座:午後6~8時

相談窓口:午後8~9時

◆場所/東京都生涯学習情報センター

(JR/地下鉄有楽町駅下車3分)

◆参加費/入門講座:600円

相談窓口:無料

◆全6回参加された方には修了証をさしあげています。

新企画で 日本語ボランティア 基礎講習会を開催

会員のみなさまのご要望にお応えして夜間の『日本語ボランティア基礎講習会』を開催することになりました。今回は新たな企画内容で、日本語教授法講座と相互理解講座をあわせての8回コースです。

◆日時/5月9日~6月27日までの

毎週木曜日(全8回)午後6~8時

◆場所/飯田橋セントラルプラザ7階

東京ボランティアセンター

◆定員/20名

◆受講料/全8回、10000円

◆申込み・問い合わせ/林川 玲子

TEL/FAX:03-3473-5088

日本語ボランティア 入門講習会、開催中

『日本語ボランティア入門講習会』は第2期を開催中です。4月は「ボランティア日本語教室活動の紹介と事例報告」、5月は「日本語ボランティアの心がまえ」をテーマに、午後と夜間それぞれ1回ずつ開催します。あわせて日本語ボランティアに関する相談もお受けしていますので、お気軽にご参加ください。

◆日時

4月16日(火)

入門講座:午後2~4時

相談窓口:午後4~5時

4月23日(火)

'96年の会費納入は お済みですか?

TNVNの'96年年会費をまだ納入いただいていない団体・個人の方は、下記まで納入をお願いいたします。

◆年会費/正会員(団体) 3000円

協力会員(個人) 2000円

賛助会員 1口10000円(1口以上)

◆郵便振り替え口座番号

0100-1-719259

口座名

東京日本語

ボランティア・

ネットワーク



TNVNへのお問い合わせ・申込み等は下記まで郵便またはFAXをお願いいたします。

東京日本語

ボランティア・ネットワーク

〒162 東京都新宿区神楽河岸1-1

東京ボランティアセンター 気付

FAX:03-3235-0050

グリーンウォーク'96

JVCをはじめとする12のNGO団体が開催する、アジア・アフリカ・中南米の人々の生活向上を支援するイベントです。

◆日時：5月26日(日)

10:00~17:30

◆会場：光が丘公園(練馬区)

◆内容：ウォークラリー、NGO活動紹介コーナー、エスニック料理、屋台料理

教室、自然観察(ネイチャーゲーム・野鳥観察)、バザー、ほか

◆参加費：1000円

*キャンペーンとして3月15日から7月末まで、募金、書き損じハガキ・商品券、などの寄付、草の根貿易商品の販売を実施しています。

*NGO各団体はそれぞれ支援プロジェクトをくみますが、JVCはこのイベントでベトナム・ハイフオンのストリートチルドレンの支援を行います。

AMDA国際医療情報センター東京の電話相談

AMDA国際医療情報センターでは、外国語のわかる病院・医師の紹介、日本の医療・福祉制度の説明などに外国語で対応しています。

◆電話相談：Tel/03-5285-8088(無料)

◆対応言語・受付時間：英語、中国語、スペイン語、ハングル、タイ語：月~金曜日

午前9時~午後5時

ポルトガル語：月曜日・水曜日

午前9時~午後5時

ペルシャ語：火曜日

午前9時~午後1時

フィリピン語：水曜日

午前9時~午後5時

「外国人による日本語弁論大会」参加者募集

文化的背景の異なる世界の人々に日本語で意見を発表することによって、これからの国際社会のあり方を考えるために「外国人による日本語弁論大会」を開催します。

◆日時：6月22日(土)午後1時から

◆会場：国立教育会館虎ノ門ホール

(地下鉄銀座線虎ノ門駅下車1分、丸の内線霞ヶ関駅下車2分)

◆参加資格：母国語が日本語でない、参加当日の年齢が満15歳以上の方、過去のこの大会で1位・外務大臣賞・文部大臣賞を受賞していない方

◆スピーチのテーマは自由(伝道・宗教などの内容は不可)

◆申し込み方法：所定の申込用紙、スピーチを録音したカセットテープ、スピーチの手書き原稿、顔写真(裏面に記名)を下記まで提出してください。

〒160 新宿区四谷1-21

財団法人国際教育振興会 事業課

「外国人による日本語弁論大会」係

Tel:03-3359-0561

◆申し込み期限

5月9日(木)午後5時必着

講演会「スラムを拓く」

プラティープ・ウンソンタム・ハタさんはバンコクのスラムの住民代表として、長年にわたり子どもたちの教育や住む権利のために活動をしている方です。その功績によってアジアのノーベル平和賞ともいわれるラモン・マグサイサイ賞を受賞しています。

◆日時：4月25日(木)午後2~4時

◆会場：成増区民センター・

アクトホール

(東武東上線成増駅下車1分、

地下鉄有楽町線成増駅下車3分)

◆入場料：無料

◆タイ語から日本語への逐次通訳つき

◆定員：470名

(定員に達し次第、締め切ります)

◆申し込み方法：往復ハガキの往信用に講演会名・住所・氏名・電話番号を、返信用に住所・氏名を記入のうえ、下記までお申込ください。

〒173 板橋区板橋2-66-1

板橋区教育委員会社会教育課生涯学習係

*託児、手話通訳、要約筆記が必要な方は申込みの際に書き添えてください。

青山日本語クラブで学習者を募集

この4月から活動をスタートした青山日本語クラブでは、学習者を募集しています。青山近辺に在住・在勤・在学の外国人の方にご紹介ください。

◆活動時間：毎週火曜日 午後2時~3時30分

◆会場：港区北青山3-12-3

宣明ビル3F(地下鉄表参道駅下車3分)

◆会費：1か月500円

◆申込み・問い合わせ

牛場 由紀子 TEL:03-3403-8060

FAX:03-5474-4321

ヨルダンの小学校訪問報告と今後の海外援助

日野国際友好クラブでは、ヨルダン王国の小学校を訪問した会員の長沼さんの報告を聞きながら今後の海外援助について話し合う国際理解講座を開催します。

◆日時：5月12日(日)午後2~4時

◆会場：日野市中央公民館

(JR日野駅より徒歩10分)

申込み・問い合わせ：長沼

TEL:0425-91-6140(夜間)

BULLETIN BOARD

Special Thanks to... ありがとうございました

お茶の水おりがみ会館様

交流会の体験コーナーのために和紙
をご寄付いただきました。

秦佳朗様、田島弘司様、田村国平様
交流会の分科会・体験コーナーにご
協力いただきました。

JVC日本国際ボランティアセンター様
快く取材に応じていただきました。

KDD国際電信電話(株)様

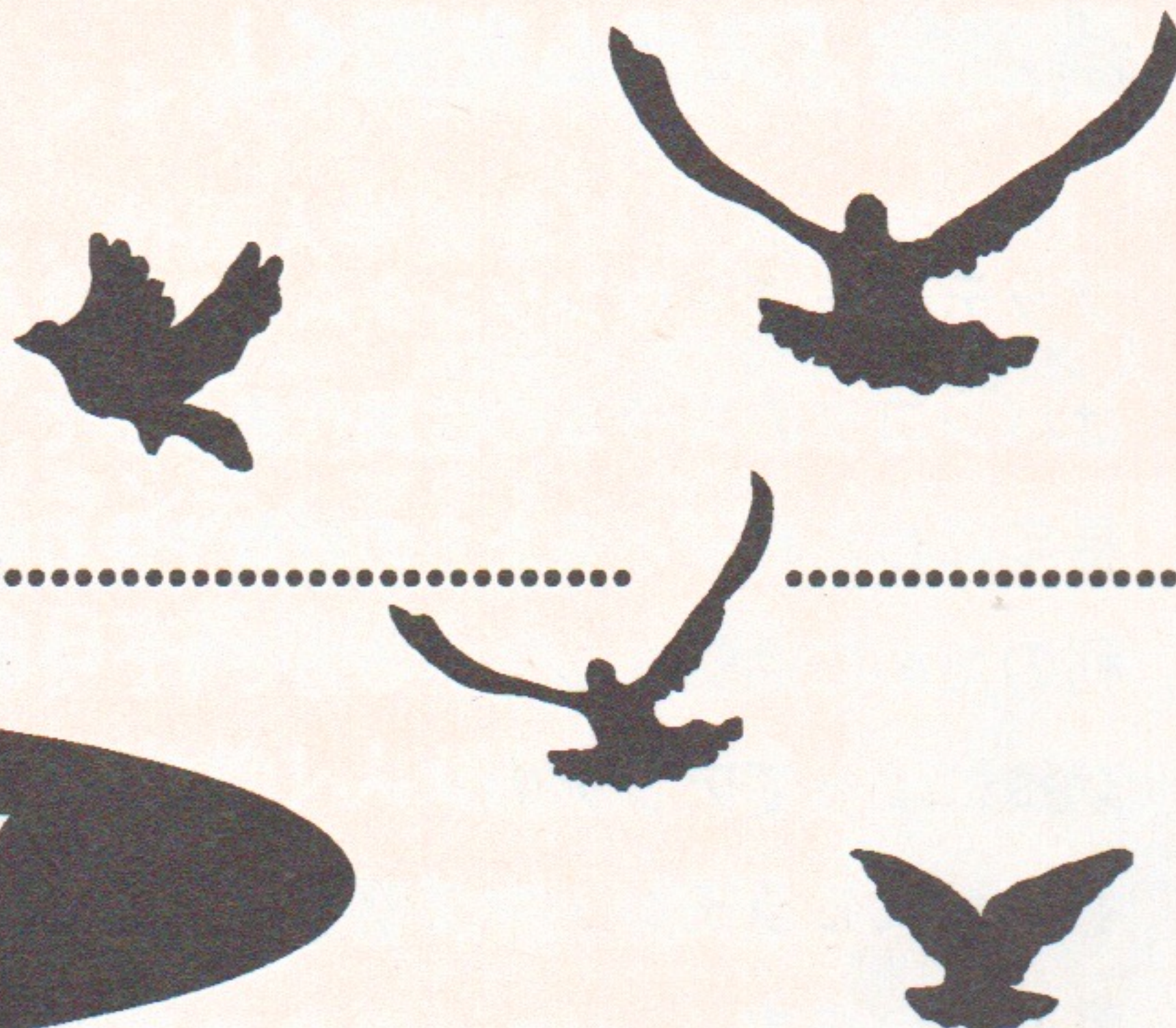
交流会のフリーコール、サポートプ
ログラムによる支援金、ニュースレ
ターの印刷にご協力いただきました。

メディアに見る TNVN情報

●東京新聞2月25日朝刊
日本語ボランティアとTNVNの活動
の紹介

●『女性時報3月15日号』
女性時報社刊
TNVNの活動の紹介

●ムック
『日本語を教たい人の本』アルク刊
TNVNの活動と講習会の紹介



事務局DIARY

近年、ボランティアが話題になること
が多いが、その関わり方・意識の持ち方
はさまざまであるように思う。まず、ボ
ランティア活動への関わり方の違い。

1 時間が空いているから、人助けでも
しようと思う。

2 経済的に余裕があるから、なにかに
役立てようと思う。

3 限られた時間・経済でも、そのなか
で明確な目的を持って自発的に関わる。
この1・2のタイプは、自発性に乏しく、
指示待ちタイプが多いのではないかと思
う。一方、3のタイプは自分の時間と経
済をいかに有効に活用するかを常に意識
している人々で、職業を持ちなんらかの
プロであるケースが多いようだ。活動や
その結果に対してきちんと責任をもち、
組織内での自分の役割をわきまえ、そし
て柔軟性や協調性に富んだ人々である。

当然、その人たちの活動の結果は、未
知の世界や多彩な人物との出会いに満ち、
十分な満足と楽しさを得られるものであ
ろう。下心や邪心なしの活動は換金不可
可能な喜びを味わえるものだ。

ボランティアをしていると言うと、

「立派なことをしている」「余裕があ
る」「カッコいい」などと言われること
がある。時にはその言葉を素直に受けと
れず、複雑な思いにとらわれることがあ
る。そこにはボランティアに興味はあっ
ても活動に参加できない人、つまり初め
の一步を踏み出せない人の強がりが含ま
れているようにも聞こえるのである。

最近、ボランティアに関わる人たちの
意識も多様化し、またその活動範囲も拡
大し力強いものとなっている。ボランテ
ィアは『篤志家』がやるもの、暇とお金
がある主婦がやるものなどと、一言で表
現できない時代になってきているのでは
ないだろうか。

中田 紀子 (TNVN代表)

新入会員のご紹介

Welcome!

正会員 (団体)
グループドメニカ (足立区)
青山日本語クラブ (港区)

協力会員 (個人)

塚本眞理枝、杉山正吾、高橋ひろ子、
牛場由紀子、三浦佳子

賛助会員：満島章

(敬称略)

96年4月1日現在の会員数は、正会員
76団体、協力会員130名、賛助会員8
です。

編集後記

●4月を迎え、『日本語ネットワーク
ニュース』もデザインを一新してリニュー
アルしましたが、いかがでしょうか。ご
協力いただいたグラフィックデザイナーの
鶴田環恵さん、ありがとうございました。

●春はスタートの季節。入学や入社に関
係のない私も新しいなにかを始めたくな
って、いろいろとチャレンジしています。
どうか長続きしますように。🐾 kyo

●取材や記事を書くという初めての体験
で、学生時代の作文を思い出しました。
ただ話を聞くだけでも、原稿を書くため
に聞くのではその観点もぜんぜん違うも
のだと実感しました。👉kubo..

●
発行人/中田 紀子 編集人/前田 恭子
レイアウト/鶴田 環恵

T N V N と は

TN VN東京日本語ボランティア・ネットワ
ークは、ボランティア日本語教室活動を
行っている団体のネットワーク (連絡協
議会) として、情報交換や活動の活性化
を図ることを目的に、1993年12月に結成

されました。TNVNの会員はそれぞれの地
域で日本語教室活動を通じて、言葉のため
に日常生活に不自由している外国人などを
隣人として支援しています。

